

# HopStepJump

7

授業づくり③・④

～ 授業の導入・展開・まとめ I・II ～

<http://toyono-jinjikyoo.com/>

## コラボ研

### テーマ「子ども主体の授業づくり～先生が教え込む授業から子どもが学びとる授業へ～」

第 6・7 回の初任者研修は、大阪教育大学附属池田小学校・中学校を会場に、初任者と 10 年経験者がともに学び合う合同研修、“コラボ研”を行いました。テーマ「子ども主体の授業づくり～先生が教え込む授業から子どもが学びとる授業へ～」を柱に、午前は教科・グループごとに初任者全員が模擬授業を行い、授業後には 10 年経験者が進行役を担い、研究協議をしました。午後からは、大阪教育大学附属池田小・中学校の先生の模擬授業を、児童・生徒役として受け、中学校においては教材を持ち寄る等、意見交換をしました。忙しい毎日の中で指導案の作成を含め、準備は大変だったと思いますが、授業づくりについて視野が広がり、今後につながるたくさんの気づきと深い学びを得る研修となりました。

### 【中学校班】～振り返りシートより～

他の先生方の授業と自分の授業、また 10 年目の先生からのアドバイスを統合して、今後気をつけるべきポイントやアイデアをより深めることができました。普段の授業で困っていることや悩みの共有、それに対する様々な対応方法も共有させてもらい、自分一人では考えつかなかった方法を知ることでもでき、2 学期からの授業づくりに早速活かしていきたいと思います。授業をつくっていく(より良いものにしていく)ことは教師である限りずっと続けていくと思うので、またこうした異なった経験年数や他校の先生方とお話できる機会があるとうれしいです。

テーマが学び合い、子ども主体の授業ということだったので、それに合わせて指導案を考えたのですが、先生方からの意見をたくさんいただいて、改善すべき点がいくつも見つかりました。発問の出し方 1 つについても工夫が色々できることを知り、子どもが今何をしたらいいのか、何を考えたらいいのかをはっきりさせていこうと改めて思いました。また、教材の読み込みが足りないと実感し、その授業 1 回、1 節で見めるのではなく、その後の授業、中・高・大のつながりまで考えて、計画的に授業をつくっていかなければいけないと思いました。とても充実した 1 日でした。学ぶことがたくさんあり、精神的にやる気ができました。

自分の授業を同じ教科を担当する先生に見ていただく機会は初めてだったので、授業内容を深めるための改善点を教えていただけたのがとてもありがたかったです。また、不安に思っていた実習の進行についても聞くことができ、事前の計画書や事後の評価など取り入れたいと思うことがたくさんありました。午後からの演習では、実習を実際に一緒にやることができ、次から自分が教える立場になった時に気をつけたいところがたくさん見つかりました。また、「これを自分の授業にも取り入れたい。やりたい。」と思うことがたくさんあり、教材研究に活かそうと思います。

同じ初任の先生方の授業を見ることができ、真似たいと思えるアイデアがたくさんあり、刺激を受けることもできたので本当に良かったです。その後の研究協議では日頃感じていた悩みを相談することができたので、とてもためになりました。自分の授業を振り返り、見つめ直すことができた充実した時間でした。

実際に授業をしてみて、普段押さえ切れていないところや、詰めの甘い部分がよくわかりました。頭では分かっているけどなかなかできないところもあり、こういった研修をとおして、改めて先輩の先生方に指導していただき、授業力向上に力を注ぐことができる機会があることはとてもうれしいことだと感じました。

10 年経験者は、初任者にとってより充実した内容の研修となるよう、事前に教科やグループごとに分かれ、準備され当日を迎えられました。コラボ研をとおして、10 年経験者の先生と出会うことで、これから先の自分の姿について考えた人もいました。10 年後どのような先生、先輩になりたいかを考えると、今をどう過ごすか見えてきますね。

## 【小学校班】

### 《午前：模擬授業を終えた初任者の振り返りシートより》

グループは、全部で27グループ。できる限り同じ学年を担当する初任者と10年目経験者、最大8名で構成され、グループごとに初任者全員が算数の模擬授業を行いました。

同じ初任者、学年の先生で、同じ教科の授業を見て考えることができ、大変貴重な機会となりました。同じ単元でも、使う教具が違ったり10年目の先生の「私だったらこうする」というこれまでの経験に基づいたアドバイスをいただけたり、とても参考になりました。子どもたちならどう考えるかをずっと想定して2学期の授業につなげたいです。

指導案作成、模擬授業をしてみて、自分だけで授業を考えたときには思いつかなかった発問や展開に出会うことができたと思います。また、授業を受ける立場になることで、改めて子どもの目線に立つと、違う角度から課題を見ることができると実感しました。2学期からの教材研究や授業実践に活かしていきたいです。「子ども主体」であり、一時間の課題(目標)が明確である授業を心がけたいです。

実際に今日の授業をやってみて、自分の問いかけに対する子どもたちの反応をたくさん用意しておかなければならないと改めて感じました。授業をつくるときに、子どもたちがどこで悩むのか、何が難しいのかを子どもの気持ちになって練り上げる必要があると実感しました。また、この授業をとおしてこれを学ぶ価値、なぜ学ぶ必要があるのかという部分をもっと意識しようと思いました。

他の先生方の授業を見せていただいて、導入での課題設定の仕方や、課題を解決する上でどのようにしていくか、見通しを持たせるためにできることがたくさんあると感じました。また、教師自身が授業の着地点を意識して授業をつくることで、子どもの発表や活動が活きて、クラス全体の学習が深まっていくと感じました。

### 《午後：附属池田小学校の先生の模擬授業を受けた初任者の振り返りシートより》

算数1・3・5年生、道徳1年生、理科4年生、体育5年生の授業を公開していただきました。

子どもの声から授業をつくるということは、まだまだ難しく、教科書から離れられませんが、いつか自分で考えていけるようになりたいと思いました。

子どもたちの活躍の場が多い授業構成で、子どもたちがしっかり考え、その中で疑問に思ったことやもっとやってみたいと思える工夫がたくさんあり、ぜひ授業で取り入れたいと思いました。

導入がとてもおもしろく、また今から何を勉強するのがよく分かるものでした。その背景には、様々な教科書を見て教材研究をしていると知り、教材研究の大切さに改めて気づきました。

場の設定から授業の流れなど、細かくていねいに教えてくださり、自分自身が知りたかった、また気になっていたところが聞くことができ、とてもうれしかったです。

どの発言も受け止めてくださる雰囲気、とても心地よく、子どもたちにとって発言しやすい場、考えを表に出す場をつくるのはとても大切なことだと実感しました。意見からつなげてまとめて深めていくという方法は、まだ私には難しいですが、子どもの意見から深めていく授業ができるよう、しっかり教材を読み込んで発問を考えていきたいです。

子どもが自分自身で考えを深めていけるようワークシートの作り方や、展開の仕方等とても参考になりました。子どもが自分なりの言葉で考え方を説明する場を設定することや、全員が参加できるような声かけ、指導の工夫の必要性を改めて気づきました。

実験を行う前の予想の出し方が大変勉強になりました。日常的な現象と結びつけることでより一層、実験をしたいという意欲がわくののだと思いました。また、実験を終えてからも謎を残すのはおもしろいと思いました。

小学校班・中学校班ともに終日の研修でした。初任者研修の授業づくり研修は全部で7回あり、コラボ研で半分を終えました。4月からの気づきや学びがつながり、漠然だったものが徐々に形になってきたのでしょうか。今後も子どもが学びとる授業、子ども主体の授業の実現をめざし一歩ずつ進んでいきたいと思います。